



世界にはばたく パナマっ子



Vol.1 2013/5/30 パナマ日本人学校 高嶋幸太(中札内中在籍)

【赴任】

4月6日、成田空港から約12時間でアトランタ空港に到着し、その後、4時間かけてパナマトクメン空港に着きました。大使館副領事及び日本人学校の先生方に出迎えられ、すんなりと税関を通過し、スクールバスにゆられること30分…。22:30にホテル入りし、手作り弁当(日本食)を家族でおいしくいただきました。思えば、その日より湯船につかっていません…。

【学校】

自宅(アパート)から500mのところに学校があるのですが、自家用車で通勤しております。数年前には、スクールバスから降りた直後に子どもが誘拐されるという事件があり、常に危機意識をもちながら、生活しています。

校舎は老朽化していますが、図書室、体育館、グラウンド等の施設も充実しており、日本と同じ教育環境で授業を行っています。

週に1回、部活動(バレーボール)、剣道同好会、サッカー同好会があり、運動量は日本に比べると少ないのですが、先生方の指導が行き届いていると感じています。

また、水泳の授業が週に1~2回行われ、半期に一度記録会や大会が行われるなど、本校の特徴の一つでもあります。



職員室(全5名で小中の授業を回す)

【生活】

基本的に何でも揃いますが、物価は日本よりも高価な場合が多いです。果物や飲み物は日本の半額以下で手に入りますが、日用雑貨については、100円ショップで買えるような物が、300円以上しています。

貧富の差が激しく、街の外観からもその様子がわかります。生魚は市場に行かないと、手に入らない状況ですが、食に不自由することはありません。毎晩、世界各国のビールとおいしいチーズで鋭気を養っています。



我が家(15階)から望むパナマシティ

【パナマ】

時間通りに行かない社会、渋滞し信号機もない交差点など、不便を感じる部分もありますが、それもすべて受け入れ、異国の地で働くことのできるありがたさを感じています。

多くの人々に支えられながら、異文化に接するすばらしさを体感しているとともに、子どもの学びを第一義とする指導体制と組織文化づくりに向け、日々自分自身に「何を守り、何を改善すべきなのか」を問い続けているところです。



街中を走る店舗牽引バイク(安くてうまい!)